



# 錦江に生きる

From young people in the future

◎このコーナーでは、町内で頑張っている方を中心に紹介していきます。  
第70回目は、京町自治会の大山 知己さんです。



◎70人目 おお やま とも み  
【京町自治会】大山 知己さん

『2代目が  
いないんだよなあ。』  
そう話すのは、今回取材に応じ  
て頂いた、大山知己さん。  
大山さんは、大根占地区の旧道沿  
いに3代目として文具店を営んでい  
る。大山さんの祖父が60年前に立ち  
上げ、「大山商事」として営んできた。  
「この商店街は昔から大きな入れ替  
わりもなく、食事処や店舗が一気に

無くなった訳でもない。ただ、10年20  
年後に活気のある商店街として受け  
継いでいく若者が少ない。」と話す。  
幼少期は、ソフトボールを行って  
おり、城ヶ崎港から南海郵船で谷山  
まで遠征に出かける事も多かった。  
練習帰りは、栄食堂で食べるたこ焼  
きは美味しかった。と懐かしむよう  
に話した。  
大山さんは、大根占小・中学校を

卒業後、高校・大学と進学し、鹿児  
島市内で事務用品などを取り扱う企  
業に修行の一環として就職した。  
「当時はバブル時期もあり、50万  
から100万するFAXやワープロ  
など飛ぶように売れた。事務用品の  
メーカーさんとはその頃からのおつ  
きあいです。その時、ゴルフも覚え  
ました」と話す。  
平成4年、30歳の時修行を終え、鹿  
児島市内から大根占に戻り、大山商事  
3代目として文具店を営んでいる。  
また、同時期に大根占商工会青年  
部（現在の錦江町商工会青年部）に  
入り、祭りやイベントなどに携わり、  
活気や人の行き交いのある商店街を  
目指し活動した。  
大山さんの考える「代々と受け継  
ぎ活気あるまち作り」この考えは、  
大山さんの親や祖父などから受け継  
いだものではないだろうか。  
大山さんの曾祖父にあたる大山嘉  
兵衛氏は、大正12年まで乗合自動車  
を走らせていたが、昭和8年「錦江  
自動車」を設立し、人力車や馬車に  
変わる交通機関として運営した。大  
根占から垂水・佐多にまで路線を延  
ばし、明治17年には鹿屋の三州自動  
車と合併し、広域的に運用するよう  
になった。戦後は、バスの大型化や

**町営住宅  
空き家状況**  
(6月1日現在)

**大根占地区**  
町営 旧神川中教職員団地 1戸  
町営 旧池田中教職員団地 1戸

**田代地区**  
町営 荒田原住宅 1戸

お問い合わせ及び入居希望の方は、  
建設課または地域振興課へご連絡く  
ださい。

広域化により、昭和39年鹿児島交通  
株式会社と合併し、大根占営業所管  
内を30台のバスで運行したそつだ。  
大山さんは、現在50歳。半世紀を  
過ぎようとしている。  
「人生の折り返し地点。これからは、  
人と人を繋ぎ次の時代をつくる手伝  
いが出来れば良いと思っています。」  
「鮮魚店や地域の農産物を販売す  
る店舗を取り入れ、現在ある商店街  
を生かしながら、人と人の行き交う  
活気ある商店街に。そのためには、  
商店街を繋ぐ2代目や新たな後継者  
などが必要。人の行き交う商店街を  
目指したい。」と話した。  
平成25年度、錦江町商工会副会長  
として就任し、理想の商店街やまち  
づくりを目指す。

**EDITORS**

●大正3年(1914年)に噴火した桜島。今年でなんと、99年  
目。来年の100日目に向け、各地域イベントなどが開催さ  
れ盛り上がっているようです。  
錦江町でも桜島をイメージした「マグマソーダ」が特産品  
として開発され、好評のようです。  
今年99日目、そういえば広報錦江も錦江町として発行して  
から今月で99回目。来月はなんと記念すべき100号。あ  
たふたしながらも、来月の100号に向けがんばります。😊

**休日の在宅当番医**

月日	病院名	電話番号
6月23日	長浜医院	22-0137
30日	じょうさいクリニック	24-2977
7月7日	瀆畑クリニック	25-2575
14日	肝属郡医師会立病院	22-3111

※ 諸事情により変更となる場合がございますので、ご利用の前にお問い合わせください。

**人口の動き**

平成25年6月1日現在

	人口	前月号比
人口	8,742人	(△9)
男	4,097人	(△2)
女	4,645人	(△7)
世帯数	4,166戸	( )

△は減少  
住民基本台帳法改正に伴い、外国人住民も含まれます。